

## 高浜発電所4号機の定期検査工程について

2022年10月21日  
関西電力株式会社

高浜発電所4号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力87万キロワット、定格熱出力266万キロワット）は、2022年6月8日から第24回定期検査を実施しており、本日の原子炉起動に向けて準備を行っていました。

その中で、本日16時34分、「加圧器逃がし弁<sup>※1</sup>出口温度高」警報が発信したため、運転員がパラメータを確認した結果、加圧器逃がし弁出口温度が上昇していることを確認しました。

このため、加圧器逃がし弁の元弁を閉止したことから、16時35分に保安規定の運転上の制限<sup>※2</sup>を満足していない状態にあると判断しました。

原因を調査するため、本日予定していた原子炉の起動が遅れる見通しとなりました。現在、本事象による工程への影響を精査しており、工程が確定しましたら、改めてお知らせいたします。

- ※1：原子炉冷却材が循環している1次冷却系統の圧力が上昇した場合に圧力を下げるための装置であり、高浜発電所4号機には3台設置されている。
- ※2：保安規定45条において、モード1、2および3では加圧器逃がし弁3台が動作可能であることが求められている。保安規定85条において、モード1、2、3および4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合）では加圧器逃がし弁3台が動作可能であることが求められている。

以上

添付資料：高浜発電所4号機 加圧器逃がし弁位置図

### 高浜発電所4号機 加圧器逃がし弁位置図

